

あいサポート運動の取組について

1. あいサポート運動の概要

あいサポート運動は、様々な障がいの特性を理解し、障がいのある人に温かく接するとともに、障がいのある人が困っているときに「ちょっとした手助け」を行う運動である。あいサポート運動を実践していく方々を「あいサポーター」と呼び、研修会（あいサポーター研修）を受講していただき「あいサポート運動ハンドブック」と「あいサポートバッジ」の交付を受けた方があいサポーターとなる。

あいサポート運動は平成21年11月に鳥取県が創設。中国地方を中心に全国へ広がりを見せており、近畿圏においては奈良県が平成25年8月に和歌山県が平成28年8月に導入している。大阪市においては、障がいや障がいのある方への理解・啓発事業を、内閣府と共催で心の輪を広げる体験作文や障がい者週間のポスター募集、大阪ふれあいキャンペーンなどを通じて行ってきたところであるが、あいサポーターの方があいサポートバッジを着用し、サポートを行いたいマインドを見える化したあいサポート運動を新たな理解・啓発事業として取組んでいく。

2. あいサポート運動の目的

誰もが、様々な障がいの特性、障がいのある方が困っていることや、障がいのある方への必要な配慮などを理解して、障がいのある方に対してちょっとした手助けや配慮などを実践することにより、障がいのある方が暮らしやすい地域社会（共生社会）を実現することを目的とする。

3. 今後のスケジュール

- 11月 鳥取県と協定書締結
- 12月 障がい者週間に併せて事業周知
- 1月 あいサポーター研修開始